



創立 50 周年を迎えて ー 変化する社会に応える IIC へー



代表取締役社長

Nakagawa Hirokatsu

中川 博勝

2024年4月1日付けで社長に就任いたしましたので、ご挨拶させていただきます。

IHI 検査計測 (IIC) は、本年をもって 50 周年を迎えました。また、「IIC REVIEW」は 1989 年 4 月の創刊以来、年 2 回の発行を続け、今回 72 号を迎えることができました。感謝申し上げます。

この 50 年で、社会環境は大きく変化しました。インターネットの普及、デジタル化とグローバル化の進行もその一因です。それに伴い企業は環境と社会貢献により重きを置くことが必要となり、ビッグデータや AI の進歩によりデータ活用が重要となりました。また、働き方や労働環境も大きく変化しています。

これら環境変化は技術分野にも及んでいます。大学の工学系の学科名称にも表れ、かつて一般的であった機械工学、電気工学、建築工学、土木工学、化学工学科などの学科名が新たな技術分野を取込んだ学科名に変わり、講義内容も変化してきているようです。新たな技術分野として、コン

コンピュータサイエンスや人工知能（AI）、データ科学などが重要視されています。これらは、デジタルトランスフォーメーションの推進に伴う新たな技術によるものです。一方で伝統的な製造業に関連する技術分野では近代化と効率化の影響を受け、工学系の一部学科の数が少なくなっているといわれています。

変化が速い社会・事業環境においては、会社としての方向性や事業運営の見直しや事業プロセスの変革など素早い対応が求められています。

この変化が激しい環境で成長していくには、変化に対応していくことはもちろんですが、変わっていく、変革していくことも必要と思います。現状を少し変える・変革する、そしてその変えたこと・変革したことの積み重ねが重要と思います。

固定観念を捨て、例え小さな改善であっても、アイデアをできる限り創出することに全力をあげる姿勢がとても大事です。多様性があればあるほど、新たな重要な変化・変革を生み出すことができ、その変化・変革が新たな技術・サービスを生み出し、これを育て、成長させていくことが社会の発展につながると考えています。

「IIC REVIEW」がその発展の一助となれることを願っています。「IIC REVIEW」には当社が取り組んでいる技術をはじめ、技術解説や製品紹介を掲載しているので、皆さまのお役に立てればと思っています。また、「IIC REVIEW」は当社のHP (<https://www.iic-hq.co.jp>) から閲覧いただけるようになっています。

当社は、これまで無理や不可能とされていたことに対し最新のデジタル技術を適用することで、検査・計測・モノづくり技術を統合した次世代の検査計測技術に取り組んでいきたいと考えます。その成果は、本誌で適宜報告させていただきます。引き続き、皆さまからのご指導、ご意見などいただけますと幸いです。